

戦略幹部会議資料	
平成 29 年 3 月 27 日	
担当課	行財政改革課
電 話	20-3164 (内線 2171)

「市長ミッション」の採択案件について

1 市長ミッション採択案件の継続検討中の事業について

市長ミッション採択案件については、昨年 10 月 5 日開催の戦略幹部会議で、平成 26 年度採択案件の中間報告を行った時点で、継続検討中の案件が 6 件あり、また、平成 27 年度の採択案件についても、1 件が継続検討中となったことから、昨年度末時点で、合計 7 件の事業が継続検討中となっていました。

これらについては、平成 28 年度中の検討の中で、4 件が事業化され、残りの 3 件については、事業化断念という判断がなされたことから、平成 26・27 年度の採択案件の全てに対し方向性が示されることとなりました。

○ 検討結果について

		提案内容	検討結果
H26	1	SNS 鳥取 PR 大使任命（主に転出学生を対象）	事業化断念
	2	オリジナル出生証明書の発行と出産記念品のグレードアップ	事業化済
	3	中学校の制服をオシャレに	事業化断念
	4	鳥取市学生・社会人サポート制度の導入（登録者への情報発信）	事業化済
	5	安心・安全プラスワン（認定農業者（農業法人）等の育成、6 次産業化総合支援など）	事業化断念
		安心・安全プラスワン推進専門チームの設置	
6	女子大生の市職員への登用（『鳥取教えてあげ隊』）の開催、学生モニター実施など	事業化済	
H27	7	まんが砂像展示事業関連	事業化済

2 市長ミッション採択案件の進捗状況（全体）について

別紙「平成26・27年度市長ミッション採択案件の進捗状況」のとおり

(1) 平成26年度提案分の今後の方向性（別紙 P1～P3）

対象事業：17件

○ 昨年度までに事業化済み【11件】

継続実施【9件】

事業終了【2件】

※ 検討の結果、実施困難であると判断し事業を終了したもの。

・鳥取－神戸間直行バス運行事業

・海上自衛隊分遣隊の鳥取港への誘致

○ 昨年度時点で継続検討中であった事業【6件】

事業化済【3件】

事業化断念【3件】

(2) 平成27年度提案分の今後の方向性（別紙 P4）

対象事業：7件

○ 昨年度までに事業化済【6件】

継続実施【5件】

事業終了【1件】

※ システム構築が完了した事や提案内容について研究が進んだ事などから事業を終了するもの。

・ふるさと納税推進企画事業関連

○ 昨年度時点で継続検討中であった事業【1件】

事業化済【1件】

平成26年度市長ミッション採択案件の進捗状況

1 昨年度までに事業化済

No.	提案内容	担当部局	平成28年度事業計画	平成29年度事業計画	平成27年度 事業実績	平成28年度 事業実施状況	今後の方向性
01	市外転出女性と市内在住男性の 集団お見合いの定期開催	企画推進部 政策企画課	<ul style="list-style-type: none"> 婚活サポートセンターでのイベント、フォローアップ企画の実施 関西事務所等と連携した帰郷意思のある市外在住者の参加者拡大、イベント告知・内容等のグレードアップ 	<ul style="list-style-type: none"> 婚活サポートセンターでのイベント、フォローアップ企画の実施 民間が行う婚活イベントや、鳥取県の「えんトリー」事業など、地域や関係機関と連携した取り組みの強化 	<ul style="list-style-type: none"> 県外在住女性とのお見合いについては、鳥取青年会議所が主催する「海山コン」と連携して取り組み、7組のカップルが成立した。 	<ul style="list-style-type: none"> 関西圏在住の移住希望者と婚活サポートセンター登録会員をマッチングする「SUMO!鳥取市婚活ツアー」を企画、イベントを実施。 	<p>民間が行う婚活イベントや、鳥取県の「えんトリー」事業など、地域や関係機関が行う事業と連携した取り組みを強化する。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> すごい！鳥取市婚活サポートセンターでの結婚まで切れ目のないサポート 				<ul style="list-style-type: none"> すごい！鳥取市婚活サポートセンターの8月末時点の登録会員数は816人(男性382人 女性435人)となり、現在まで27回の婚活イベントを実施し、56組のカップルが成立した。 	<ul style="list-style-type: none"> すごい！鳥取市婚活サポートセンターの平成29年2月末時点の登録会員数は1,415人(男性649人 女性766人)となり、センター開設から現在まで、延べ86回の婚活イベントを実施。141組のカップルが成立、8組が成婚に至っている。28年度より、相談会を定期的に開催し、イベント後のフォローアップを重点強化を行っている。 	
02	高値販売の輸出ルートの確保、 輸出専門の農業生産法人の設立 支援、県外からの輸出企業の受 入れ支援	経済観光部 経済・雇用 戦略課	<ul style="list-style-type: none"> 企業商談の継続実施 販路開拓事業の効果検証を踏まえた取組みの見直し 輸出関連PT会議の設置（現地視察による市場調査等の検討） 海外展開支援補助 	<ul style="list-style-type: none"> 企業商談の継続実施 販路開拓事業の効果検証を踏まえた取組みの見直し 輸出関連PT会議での検討（法人設立に向けた調整等） 海外展開支援補助・輸出企業誘致支援補助 	<ul style="list-style-type: none"> 市内農産物輸出業者からの聞き取り 県、ジェトロからの輸出促進に関する事業の情報収集 サンヨー跡地に進出する源吉兆庵への農産物（原料）取引に係る協議の実施 関西情報発信拠点「とりのまんま」等と連携した農産物販路開拓事業の実施（グリーンマーケット等販促の実施） 	<ul style="list-style-type: none"> 市内農産物輸出業者からの聞き取り 県、ジェトロからの輸出促進に関する事業の情報収集 食品輸出『入門』セミナーを開催（9/26） 地方金融機関を中心とした「地域商社」設立に向けた検討会を7月、9月、11月実施。12月に「鳥取地域商社設立協議会」を設立するため、関係者と調整。 市内企業が台湾にアンテナショップを開設した。 	<ul style="list-style-type: none"> 海外展開支援補助の検討を行うとともに、金融機関、鳥取県東部の自治体及び経済団体が中心となって8月に設立する予定の「地域商社」の運営支援を行い、生産から加工・流通・販売までの包括的なサポートを行うこととする。 アンテナショップ運営支援を行う。
03	在学・新卒学生起業支援	経済観光部 経済・雇用 戦略課	<ul style="list-style-type: none"> 起業希望者の掘り起し、事業承継マッチング クラウドファンディング普及促進・活用支援 新規創業・開業支援、地域商業担い手育成 ビジネスプランコンテスト開催 	<ul style="list-style-type: none"> 起業希望者の掘り起し、事業承継マッチング クラウドファンディング普及促進・活用支援 新規創業・開業支援、地域商業担い手育成 	<ul style="list-style-type: none"> 起業推進員が鳥取大学、鳥取環境大学を訪問し、教官、学生らと起業に関する情報を交換。 起業希望者の情報提供を依頼。 	<ul style="list-style-type: none"> 起業推進員が鳥取大学、鳥取環境大学を訪問し、教官、学生らと起業に関する情報を交換。 起業希望者の情報提供を依頼。 	<p>地域の魅力活用や課題解決による起業を大学に提案しながら、起業が生まれやすい仕組みや体制づくりに取り組む。</p> <p>起業が生まれやすい仕組みや体制づくりに取り組むとともに、地元の人々の起業に対する機運を盛り上げ、地域全体における起業の促進につなげる。また、移住定住の取組みの一環として、各種起業支援施策の充実およびプロモーションを一体的に行うことにより、県外からの移住起業希望者を呼び込む。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 起業のまち「鳥取」創造プロジェクト 				<ul style="list-style-type: none"> 5月から起業推進員を配置。起業希望者の掘り起し、サポートにあたるとともに、中小企業団体中央会と連携し、事業承継に係る実態調査を実施 鳥取銀行と連携し、7月から地域クラウドファンディングサイト「FAAVO（ファアボ）鳥取」を開設 定住&起業向けパンフレットを作成し、定住相談会等で配布 新規創業開業支援事業補助金 13件採択 定住希望者向けビジネスプランコンテストの募集を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 起業推進員を配置し、起業希望者の掘り起し・サポートや起業後のアフターフォローを実施。 空き店舗情報を蓄積している鳥取市中心市街地活性化協議会等と連携し、空き家・空き店舗マッチングを実施。 クラウドファンディング「FAAVO（ファアボ）鳥取」の地域パートナーとして、起業者の資金調達やPRを支援。 新規創業・開業支援事業補助金 13件採択 	
04	株式会社運営保育園の誘致	健康・子育て 推進局 児童家庭課	<ul style="list-style-type: none"> 地域型保育事業の検討結果に基づく施設改修費補助 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度3施設を開園。 小規模保育事業 コモド第一保育園 事業所内保育事業 まなびや園 小規模保育事業 湖山くれよん保育園 	<ul style="list-style-type: none"> 27年4月 ニチイキッズ鳥取駅南保育園開園 27年5月 コモド第二保育園開園 小規模保育事業所2園の開園に向け施設整備助成を実施中。（29年4月開園予定） 	<ul style="list-style-type: none"> 入所希望児童数の推移と各施設の入園状況を見ながら、必要な場合は新たな事業者の誘致を進めていく。 （29年度も新たに2～3園の開設を予定） 	
05	鳥取ー神戸間直行バス運行事業 （通勤通学者の送迎、単身赴任 者の週末帰省に利用）	企画推進部 政策企画課	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の調査結果に基づき事業化を検討 実現可能性モデルの検証及び関係機関との連携 		<ul style="list-style-type: none"> 鳥取ー神戸間だけを捉えるのではなく、本市と他地域の「2地域居住」の可能性を探るため調査中。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度のニーズ調査結果に基づき、「2地域間居住」者向けの移動費助成に係る事業費積算と費用対効果を検証。支援に見合った費用対効果が望めないと考えられることから、事業実施は困難と判断。 	<p>制度利用ニーズと費用対効果を検証し事業の方向性を再検討した結果、事業実施は困難と判断。</p>
06	海上自衛隊分遣隊の鳥取港への 誘致	防災調整監 危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練等でのエアクッション艇上陸訓練誘致に向けて関係機関との調整 分遣隊誘致に向けての市民コンセンサスの醸成（調査、研修等の実施） 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練等でのエアクッション艇上陸訓練誘致に向けて関係機関との調整 分遣隊誘致に向けての市民コンセンサスの醸成（調査、研修等の実施） 	<ul style="list-style-type: none"> 県要望の提出（防災訓練等でのエアクッション艇上陸訓練の実施） 新潟分遣隊視察研修(6月) 7/12防災フェア2015開催（鳥取港）、アンケートの実施 佐伯市、佐伯基地分遣隊視察研修（12月） 	<ul style="list-style-type: none"> 海上自衛隊基地分遣隊の誘致及びエアクッション艇の上陸訓練の誘致の可能性を調査・研究した結果を報告書にまとめ事業を終了した。 	<p>海上自衛隊基地分遣隊の誘致及びエアクッション艇の上陸訓練の誘致の可能性を調査・研究した結果、いずれも誘致は困難との結論に達し、報告書にまとめ事業を終了した。</p>
07	オシャレなオリジナル婚姻届と 結婚証明書の交付	総務調整局 市民課	<ul style="list-style-type: none"> サービスの継続実施 検討結果に基づく出生に関する取り組みの実施 	<ul style="list-style-type: none"> サービスの継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> H26.12.15よりオリジナル婚姻届の配布開始（窓口、HPでのDL）および、婚姻届提出者に結婚記念証とそれを飾るフレームをセットで交付。H27年度結婚記念証の質感アップ実施。 	<ul style="list-style-type: none"> オリジナル婚姻届の継続配布 結婚記念証（フレーム、お祝い封筒セット）の継続交付 	<ul style="list-style-type: none"> オリジナル婚姻届の割合約74% 本市以外で届出された件数270件以上。 満足度80%以上 広く認知されており、今後も継続していく必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> 市民課窓口での記念撮影サービスとドレス貸出 				<ul style="list-style-type: none"> H26.12.15より婚姻届提出者に対して市民課窓口で記念撮影サービスの開始。 記念撮影用バックパネル、お祝いボード、椅子等のグレードアップを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 窓口で希望者に記念撮影サービス継続実施 記念撮影用SNS風フレームを作成した。 	

No.	提案内容	担当部局	平成28年度事業計画	平成29年度事業計画	平成27年度 事業実績	平成28年度 事業実施状況	今後の方向性
08	サービス付高齢者住宅新設事業	福祉保健部 高齢社会課	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部へのセールス開始 ・サービス付高齢者向け住宅運営事業者の募集・決定 ・介護・医療職の雇用マッチングサイト開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス付高齢者向け住宅の整備着手、入居募集開始（民間企業） ・新設、既設住宅広報費補助 ・介護職への転職、就職、スキルアップ支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略策定に向けた調査の中で、サービス付高齢者住宅へのイメージや移住を検討する際の参考となるかどうかの調査、分析を委託している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス付高齢者向け住宅が移住を検討する際の参考となるかアンケート結果を分析したが、制度への評価はしつつも、移住への決定打とは言い難い。 ・市内のサービス付高齢者向け住宅事業者へ調査を行い、施設数16、県外入所者21名あり。新たな施設の誘導ではなく、都市部高齢者の誘致に関する施策の検討を行うこととした。 	<p>継続実施</p> <p>平成27年度以降に、新たに7施設（予定含む）開設されるなど、民間事業者等による整備が進んでいる。 現時点では、新規開設等の動向を注視することとし、本市としては、新たな施設の誘導ではなく、都市部高齢者の誘致に関する施策の検討を行うこととする。</p>
09	留学生受入れ支援	経済観光部	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度の調査、検討結果を踏まえた事業の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・環日本海経済交流センターと連携して、鳥取大学・鳥取環境大学の留学生と地元経済人との交流会・意見交換会を開催し、アンケート調査などを通じて留学生ニーズの把握に努めた 	<ul style="list-style-type: none"> ・環日本海経済交流センターと連携し、留学生に対し情報提供等の取り組みを実施。 ・12月2日に留学生・企業交流会を行った。 ・2月15日に外国人財活用セミナーを開催し、留学生・企業の交流会を行った。 	<p>継続実施</p> <p>引き続き環日本海経済交流センターと連携して留学生と地元企業のニーズ調査、情報提供を行い、海外優秀人材の地元定着を促す。</p>
10	新築借上げ賃貸住宅の整備（公民連携による住宅の供給） 既存ストック借上げ賃貸住宅の整備	都市整備部 建築住宅課	<ul style="list-style-type: none"> ・借上げ住宅希望調査 ・民間事業者等との勉強会・意見交換会開催 ・借上げ住宅事業実施条件のとりまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・借上げ住宅導入検討の継続 ・30年度予算化（コンサル委託等）に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅長寿命化計画の見直しにおいて、今後の住宅政策に対する考え方を整理することとしており、業務受託業者と『借上げ賃貸住宅』に対するニーズ把握及び市場調査の手法について打ち合わせ済。 ・他自治体の事例収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅長寿命化計画に基づき、借上げ型公営住宅の導入検討を行っており（公共施設再配置基本計画、第6次行財政改革大綱とも連動）、これにシフトし検討を進めている。 ・不動産関係団体及び民間事業者等へ借上げ住宅の事業実施に向けアンケート調査（勉強会参加の意向等）を行い、アンケート結果に基づく勉強会・意見交換会を実施。 	<p>継続実施</p> <p>市営住宅長寿命化計画に基づき、今後、団地ごとの建替え、廃止を判断する際に、借上げ住宅の導入を検討していくため（公共施設再配置基本計画、第6次行財政改革大綱とも連動）、まずは不動産関係団体及び民間事業者等と借上げ住宅制度の理解、メリット・デメリット等の把握をしていただく勉強会・意見交換会を重ね、事業化に向けた検討を継続して行っていく。</p>
11	大学生の地区公民館職員（アルバイト、職員）に配置	企画推進部 政策企画課	<ul style="list-style-type: none"> ・学生インターンシップの継続実施 ・学生インターンシップの実施状況分析 ・検討結果に基づきアルバイト職員を任用 ・各大学と調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップとして、公民館（湖山西地区）において、大学生3名受け入れ済 	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度は、インターンシップ受入希望の公民館が5館（延べ11人対応可能）の状況だが、受け入れには至らなかった。 	<p>継続実施</p> <p>H27年度から実施の地区公民館でのインターンシップ受入の課題として、受入期間の②時期が限定的で、②短時間のため、学生に公民館業務、地域づくり業務への理解が深まらず、また積極的な活動参加につながっていない状況。 平成29年度は、大学生を地区公民館のアルバイト職員として雇用し、地域事業に参加する場を増やし、若者と地域のつながりを深めていくことで、地域定着を図っていく。</p>

2 昨年度時点で継続検討中であった事業

No.	提案内容	担当部局	平成28年度事業計画	平成29年度事業計画	昨年度までの検討状況	現時点での検討状況	今後の方向性
12	SNS鳥取PR大使任命（主に転出学生を対象）	総務調整局 市民税課 (企画推進部)			・No.13の登録者をベースにすることとしているため、広報室の進捗待ち。	平成27年度税制改正で、全額控除されるふるさと寄附金枠が約2倍に拡充されたこと、ふるさと寄附金を行う自治体の数が5団体以内であれば、控除に必要な確定申告が不要になる「ふるさと納税ワンストップ特例制度」が導入されたこと、マスコミの返礼品のみに焦点を当てた報道の影響により、各自治体の返礼品競争は激化しており、転出学生によるSNSが寄附金の獲得に直接的に好影響をもたらすとは考えにくい。 副次的に得られる本市の魅力を伝えることやそれによる定住促進効果を期待するのであれば、シティセールスの一環として既存事業と絡めながら実施するのが合理的なのではと考えている。	事業化断念 本市のふるさと寄附金に関するWEB広告をコントロールしていただいている専門家に相談したところ、「これだけふるさと納税に関する情報が渦巻いている状況下では、有名ブロガーを通じた情報発信であれば影響力が期待できるが、素人のブログ程度では効果は望めないのでは」という助言をいただいている。 本提案は、現在の「ふるさと納税」の動向に合わなくなっているため、事業化はしないこととする。
13	オリジナル出生証明書の発行と出産記念品のグレードアップ	総務調整局 市民課			・オリジナル出生届を配布する自治体が現れており、本市においても既出の婚姻届に続き出生届についても出生証明書と併せて実現化について検討した。	・デザイン（案）の検討を実施。市民課職員によるアンケート結果等を踏まえ、政策実現チームにおいてデザインを決定した。	事業化済 平成29年度から「出産」を応援する事業として、オリジナル出生届の配布、出生記念証の交付に取り組むことにより、本市への定住促進及び子育てがしやすい環境整備による少子化の改善を図ることとする。
14	中学校の制服をオシャレに	教育委員会 事務局 学校教育課			・ミッション内容の若手デザイナーや企業誘致につながるような事業としての実施は、技術面やコスト面で実現が難しいと考えている。	・ミッション内容の若手デザイナーや企業誘致につながるような事業としての実施は、企業誘致を含め検討を行ったが、技術面やコスト面で実現が難しいと考える。	事業化断念 全中学校での取組を行うのではなく、新しい中学校が設立される場合等に実現するよう検討していきたい。
15	鳥取市学生・社会人サポート制度の導入（登録者への情報発信）	企画推進部 秘書課 広報室			・地域振興課が開設した「Uターン支援登録制度」を活用し、登録者に対して、市内の求職情報や市職員の採用試験情報を配信する仕組みを構築した。 ・市内外で行われた移住定住相談会で、制度の広報及び登録に努めた ・関西圏の大学を訪問し、制度の広報及び登録に努めた。 27年度実績…大学生以上の登録者数12名	・市内外で行われる移住定住相談会や市報、公式ウェブサイトを活用し、「Uターン支援登録制度」の周知・広報に努めている。 ・ふるさと鳥取県定住機構の相談者に対して制度の周知を図っている。 ・県の就職情報発信制度を活用して制度の周知に取り組んでいる。 28年度実績…大学生以上の登録者数20名	事業化済 「Uターン支援登録制度」への県外学生の登録が少ないことから、今後開催される移住定住相談会や、県の就職情報発信制度等を活用し、制度の周知・広報に努めるとともに、登録者数の増加に向けて、庁内推進本部『賑わいのある「すごい！鳥取市」創生本部』に設置のプロジェクト推進チームを活用した戦略的な取組体制を構築し、施策の加速・進展を図っていく。
16	安心・安全プラスワン（認定農業者（農業法人）等の育成、6次産業化総合支援など）	農林水産部 農業振興課			・安心・安全プラスワンの取り組みを進めるためには、6次産業化や農工商連携の取り組みが必要となるが、従来の支援の枠の中で「高機能野菜を使った野菜ジュース」や「血糖値を下げる効果がある桑の葉茶」の開発等に向け、農家や加工業者等と検討を進めている。 また、機能性分析など研究機関等との産官学の連携については、あまりに高額な研究費用が掛かるなどの課題も発生しており、費用対効果の面からも、より効果的な事業展開を検討している。	・機能性成分の分析には、その含有量はもちろん、新たな価値の付加には、希少性や効果の裏付けまでの検証が求められ、莫大な費用と時間を要することが判明し、様々な可能性を考量した上で、費用対効果の面からも実施は困難と判断。現在、県外でのマルシェや商談会の開催を通して、安心・安全な食材を県外へのPRなどに活動の中心をシフトし、ソフト的なイメージアップを行っている。	事業化断念 これまでの検討の結果、当初提案の内容について具体的な成果を見出すことは困難と判断。今後も、ソフト的な活動を中心に、関西情報発信拠点を基軸とし、鳥取市の安心・安全な食材情報を発信するとともに、6次産業化や農工商連携の取り組みを関係機関と連携しながら加速させ、地域産業の底上げを図っていく。
	安心・安全プラスワン推進専門チームの設置		・平成26年度末に専門チームを設置したが、安心・安全プラスワンの取り組みの範囲（事業規模）があまりに広範囲であるため、少し「的」を絞った取り組みへの変更を検討している。そのため、チーム員一堂に会した検討会の開催は行っていない。	・平成26年度末に専門チームを設置したが、安心・安全プラスワンの取り組みの範囲（事業規模）があまりに広範囲であるため、6次産業化、農工商連携、販路開拓、輸出促進など、それぞれの分野において関係機関と連携を図りながら推進している。そのため、チーム員一堂に会した検討会の開催は行っていない。	本チームの設置目的が達成困難な現状で、本提案に特化したチーム参集を行うことは効率的でない。今後は、6次産業化、農工商連携、販路開拓、輸出促進など、関係機関との情報共有や、有機的な連携により、必要な情報の収集や分析を図っていくものとする。		
17	女子大生の市職員への登用（『鳥取教えてあげ隊』）の開催、学生モニター実施など	企画推進部 政策企画課			・今年度の設立準備については現計予算で対応予定。	若年女性に特化した市内部組織の形成を検討したが、他市例等を参考に女性に特化したものは現時点で、本市では困難と判断。 その上で、事業の展開を若年層の視点での発信の取り組みに絞り、その事業のモニタリング結果をもとに、再度事業の再構築を行うこととした本年度は、若者会議をリニューアルして再組織化された、とっとり若者地方創生会議にて、SNS（フェイスブック等）を活用した情報発信と、地域外からの者の目線の魅力発掘などのニーズ把握を行い、その結果から次の事業展開を図っていく。	事業化済 28年度の調査、事業の結果をモニタリングし、より効果的な、本市の魅力発掘や、情報発信の在り方を探る。

平成27年度市長ミッション採択案件の進捗状況

1 昨年度までに事業化済

No.	提案内容	担当部局	平成28年度事業計画	平成29年度事業計画	平成27年度事業実績	平成28年度事業実施状況	今後の方向性
01-01	公共施設リノベーション推進（シニアスクール）事業関連	福祉保健部 高齢社会課	・活用可能な学校の調査 ・地元との協議・調整 ・高齢者のニーズ調査（スクール内容の検討） ・先進地視察の実施	・地元との協議・調整 ・スクール内容の決定 ・施設（学校）の決定 ・施設改修の設計 ・事業者の公募	未着手	・学校施設の有効活用に関するFM研修会への参加 ・先進地視察の実施	継続実施 ・活用可能な学校の調査を行うとともに、先進地視察や研修会の内容等も踏まえながら、引き続き、実現の可能性を検討する。
01-02	パードスタジアム有効活用推進事業関連	教育委員会 事務局 生涯学習・スポーツ課	・大型映像装置を活用した映画上映会の実施 ・イベント環境整備（簡易多目的ブース等設置） ・先進事業視察 ・官民協働、政策間連携を加えた事業実施（食のイベント等） ・実施事業の結果検証に基づき次年度事業計画策定	・前年度実施事業結果検証によるパブリックビューイング、映画上映会等の実施 ・実施事業の結果検証に基づき次年度事業計画策定	未着手	・5月にガイナレー鳥取の公式戦と同時に、「デリ・フェス」を開催。 ・6月に事業提案について公募型プロポーザルを行い、3つの提案を採用。 ・9月に鳥取福祉会と共同で、公募で採用された「デリ・フェス×キッズフェス」を開催 ・9月にバックスタンドにキャリング・アンプシステムを設置 ・10月に「とりスタふえす20!6」を開催 ・12月に「学校対抗マスターズ駅伝in鳥取」を開催 ・3月に公募事業者からの意見を取りまとめ、簡易多目的ブースを設置	継続実施 5月と9月に実施した事業はサッカー公式戦と同時開催であった。公式戦との同時開催では、映画上映は不可能で、食のイベントも制約が大きく、事実上、SC鳥取を中心とした事業に限定される。10月に、単独で映画上映を含む事業を実施したが、来場者アンケートにおいて、映画上映を希望する声はなく、大型映像装置を主体とする事業は効果が薄いと思われた。12月に実施した駅伝事業は、アンケートで継続を望む声もあるなど、新たな可能性を感じさせるものである。ただし、時期的に他の駅伝、マラソン大会と近接しており、関係団体の協力を得にくい点が課題である。単独で行った事業はいずれも集客力不足の感否めず、自立したものとするためには、施設の有効活用、集客力向上のためのさらなる工夫が必要であるが、施設管理部門のノウハウでは限界があり、ソフト事業部門が予算を持つのが望ましい。また、施設の性質上、サッカー関係の事業が優先されるためスケジュール上の制限が厳しく、前年度から計画的に準備する必要がある。屋外施設であるため、天候に左右されず実施可能なイベントが望ましいと思われた。
02-01	ふるさと納税推進企画事業関連	総務調整監 市民税課	・先進地視察の実施 ・ふるさと寄附金及びとっとり市（いち）のそれぞれの管理システムを統合・連携・発展したもの新規構築に向け研究、管理システム構築 ・プレゼントの選定・開発のための調整・打合	・新システムによる運用 ・プレゼントの選定・開発のための調整・打合	・先進地視察の実施、ふるさと寄附金及びとっとり市（いち）のそれぞれの管理システムを統合・連携・発展させるための管理システム構築、付加価値の高いプレゼントの選定・開発のための調整・打合経費などを盛り込んだ平成28年度当初予算を要求したが、先進地視察以外の予算化は見送りととなった。	・先進地視察の実施 ・6月補正において、ふるさと寄附金及びとっとり市（いち）のそれぞれの管理システムを統合・連携・発展させるための新管理システム構築経費を予算化 ・新管理システム構築のための開発事業者の選定 ・新管理システム開発完了 ・協賛事業者への説明会開催	事業終了 平成29年度からは、ふるさと寄附金及びとっとり市（いち）のそれぞれの管理システムを統合・連携した新管理システムを稼働し、返礼品をポイント制へ移行するため。 なお、プレゼント品目の拡大についても、提案された内容についての研究が進んだこと。ポイント制の導入で事業者のプレゼント企画の自由度が増すことにより、自然と事業者間の企画競争が活発化すること。などから、通常業務へ移行する。
03-01	シティセールス大使設置事業関連	企画推進部 政策企画課	・大使の委嘱（任期：平成30年度末予定） ・自転車イベント開催 ・SUMO!鳥取市キャンペーンの研究	・自転車イベントの検討等 ・自転車イベント開催 ・SUMO!鳥取市キャンペーンの推進 ・新たなシティセールス推進施策の検討	・シティセールス大使制度の整備準備 ・H28.3.19、鳥取市が自転車ですべての街であるイメージの浸透と、新たな交流人口の獲得を目的に、元バレーボール日本代表の山本隆弘氏をイベントプロデューサーに迎え、山陰海岸ジオパークをコースにしたサイクリングイベントを開催。（参加者数126名）	・H28.4.1、鳥取市シティセールススペシャルサポーターの設置に関する要綱の制定 ・H28.4.8、山本隆弘氏にサポーター委嘱 ・H28.6.6、鳥取すごい！ライド実行委員会発足 ・H28.9.27、石浦将勝氏にサポーター委嘱 ・H28.11.27、第1回鳥取すごい！ライド開催 ・H29.2.4～5、すごい！鳥取市婚活ツアー開催 ・住もう！鳥取市キャンペーンの実施	継続実施 引き続き、サポーター制度を活用して効果的なシティセールス事業を展開し、本市のイメージアップ、交流人口の増加、移住定住促進を図る。
03-02	関西圏ふるさと寄附金拠点整備事業（ととりのまんま）事業関連	企画推進部 政策企画課	人気の返礼品を店内に陳列し、寄付金制度の利点について効果的にPR	平成29年度以降の「ととりのまんま」の事業展開の状況を踏まえた事業実施の調整（平成29年3月末で本施設に係る各種契約期間満了）	人気の返礼品、寄付金制度のPRリーフレットを設置し、来店者に対し本制度のPRを実施。	・平成29年4月に開設予定の新たな関西情報発信拠点「麒麟のまち関西情報発信拠点」の施設及び体制整備を実施。 ・人気の返礼品、寄付金制度のPRリーフレットを設置し、来店者に対し本制度のPRを実施。	継続実施 平成29年4月に開設予定の新たな関西情報発信拠点「麒麟のまち関西情報発信拠点」において、引き続き効果的なPRを実施し、関西圏からのふるさと寄付金の促進を図る。
03-04	すごい！鳥取城キャンペーン事業関連	教育委員会 事務局 文化財課	ソフト事業（専門家と巡る鳥取城・山城めぐり）を「厳選プランC」として提供し、実験的にふるさと寄附金を募る。ソフト事業参加者に関き取り・意見交換を実施し、次年度以降に反映する。 現地をガイドできる学識経験者・山林見学の補助者（謝金・旅費対応）	28年度の成果をもとに商品開発・イベント実施・ツアーガイド人材の育成などを行う。		・ツアーを計画し、ふるさと寄附金のメニューに掲載するための手続きについて市民税課に確認。 ・ガイド講師として予定していた学識経験者の体調不良により実施の目途がたたなかったため、メニュー掲載を見送り。	継続実施 関係者の人的状況に大きく左右されるため、実施可能な内容に事業を見直し。平成29年度は、鳥取城跡復元整備事業に関連する、瓦スポンサー募集方法等の検討を行う。 【参考】ガイド講師として予定した学識経験者に、継続して文化財課の調査に関わっていただいていたため、他に適任者がいない状況にあり、ツアーガイド人材の育成等も困難である。また、ツアー内容を実現可能なものにとすると、観光ボランティアによるガイドと同等程度となり、ふるさと寄附金の商品としては馴染まないため、検討には時間を要す。

2 昨年度時点で継続検討中であった事業

No.	提案内容	担当部局	平成28年度事業計画	平成29年度事業計画	昨年度までの検討状況	現時点での検討状況	今後の方向性
03-03	まんが砂像展示事業関連	経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課				・砂の美術館内でのマンガ砂像展示は困難。 ・砂の美術館10周年記念事業を検討する中で、マンガ、アニメ作品とのタイアップが可能であれば、イベントでの砂像制作は可能であるが、クリアする課題は多い。	事業化済 平成29年11月に、国内彫刻家や大学生が作品を競う砂像選手権や、国内外から砂像関係者が一堂に会する砂像サミットを開催することとしており、今後は、関係機関とコンテンツ利用の協議を重ねながら、プロ彫刻家によるマンガ砂像制作の実現に向け調整を進める。